

2016年12月2日

東急ファシリティサービス株式会社

## 渋谷ヒカリエにおいて3回目となる災害食の体験型訓練を継続実施 ～ 実効性を継続的に検証～

東急ファシリティサービス株式会社（本社：東京都目黒区、社長：高橋 俊之）は、甚大な被害が予想されている首都直下地震に備え、2016年11月11日、渋谷ヒカリエにおいて、被災時におけるお客様の事業継続および早期復旧を目的に、食料備蓄の実効性を検証するため、災害食の試食訓練を実施しました。この訓練は、2016年10月26日に続いて3回目となります。

当日は、渋谷ヒカリエおよびたまプラーザ テラスに勤務する当社の従業員 25 名が参加し、実際に備蓄された災害食を試食する訓練を実施しました。被災時にライフラインが途絶し、災害食のみを取り続けて、早期復旧に向けた対応を行うことを想定して、参加者のうち8名は、2日間に亘って、1日に3食の災害食と1食につき500mlの水を摂取して勤務に従事することで、「元気に働き続けることができる」備蓄食料のあり方を品質、量など、さまざまな観点から検証し、課題を抽出しました。今後、洗い出された課題を継続して改善し、食料備蓄の整備を推進していきます。



災害食に関する訓練を継続的に実施し、ライフラインが途絶した場合においても、公助に依存せず、自ら必要な食料を備蓄することにより、お客様の事業継続および早期復旧はもちろんのこと、良き企業市民として地域社会の減災にも貢献できるよう防災基盤の整備を推進してまいります。

### 【本件に関するお問合せ】

経営統括室 総務部 総務課 （担当：中嶋・遠藤）

TEL：03-5722-1111 FAX：03-5722-1138